

私たちにできること

① 買う

手軽で、確実に生産者のためになる方法です。

朝の一杯のコーヒーから、一枚のチョコレートから、小さなことから始めることができます。

「フェアトレード商品のいいところ」

- ・支援ではなく対等な取引である為、継続可能である。
- ・支援されているという甘えが無い為、消費者にとって魅力的な、品質の高いものが多い。
- ・つくる人、生産地の環境に配慮して、無農薬や有機栽培に取り組む団体が多いため、結果的に使う人にとってもやさしい商品となる。(途上国では、何も教えられていない子どもが、裸足やマスク無しで危険な農薬を散布して健康を害してしまうこともある)
- ・フェアトレード団体の中には、小規模農園や学校、病院の設立などのための融資を行う団体もある。

お店を営んでいらっしゃる方へ

コーヒー、紅茶、ココアなど、フェアトレードの商品を取り入れてみませんか？

一杯の飲み物がきっかけでフェアトレードについて初めて知る、ということもあるかもしれません。

おいしいフェアトレードのコーヒーは沢山あります。

どうかご検討をお願いいたします。

② 知る・知らせる

日々使う物や口に入るものが、児童労働や奴隷労働などを経ている可能性は十分にあります。そういった商品を買うことは、その企業を応援することになってしまいます。

まずは知ることが大切です。このチラシに書かれていることは、ほんの一例に過ぎません。すべてを知ることが出来ませんが、知ることでも少しでも回避することは可能です。インターネットを使えばある程度の知識を得ることはできます。「フェアトレード」「南北問題」「児童労働 カカオ」などのキーワードを検索してみてください。映画「おいしいコーヒーの真実」や、書籍「コーヒー危機」「わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。」「世界から貧しさをなくす30の方法」などもおすすめです。

そして、知ったことを身近な人に伝えて下さい！プレゼントを贈る機会があればしめたもの。素敵なモノと一緒に、手軽にフェアトレードの魅力を知ってもらえるチャンスです。

③ 求める

もう少し能動的なことがしたくなったら、こんな行動で示すのはいかがでしょうか？

・手段1：直接言う

お店の人に、「フェアトレードの商品はありますか？」という質問や、「あったら自分も自分の友達も絶対買うんだけどな」といった要望を伝える。「お客様の意見」として参考にもらえるかもしれません。

・手段2：メールや手紙で伝える

直接言うのが難しい場合、大きな会社で直接言うことが出来ない場合は、メールや手紙等を通じて伝えましょう。

「児童労働や、不当な低賃金で労働させた原料を使っていませんか？」という質問でも、

「フェアトレードのものがあればぜひ買いたいです」という要求でもいいと思います。

いつも行くスーパー、おなじみのカフェ、レストラン、大きな会社、小さなお店。ピンときたところに意見を伝えてみましょう！

「あるイギリス人男性の話」

イギリスでフェアトレードが広まったのは、一人の男性が近所のよく行くスーパーの店長に、「フェアトレードのコーヒーを置いてくれたら、自分や自分の友達が絶対買う」と口説き落とされたのがはじまりだそうです。